



やすず町議会だより

発行/鳥取県八頭町議会 編集/八頭町議会広報常任委員会
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



▲活気あふれる“安藤祭り(弁財天祭り)” 9/29

もくじ

■9月議会定例会	2
■一般質問	4
■委員会報告	10

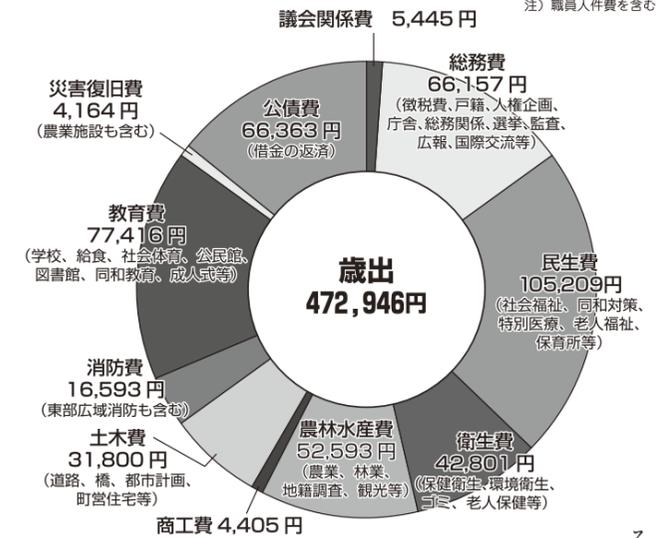


協働によるまちづくりを目指して

平成18年度決算 一般会計94億8,360万円

町民1人当たりに使われたお金(一般会計)

平成19年3月31日現在
注) 職員人件費を含む



町民1人当たりの税金支払額

町民税	25,366円
固定資産税	29,435円
軽自動車税	2,360円
町たばこ税	4,055円
合計	61,216円

町民一人当たりの地方債(借金)の残額

一般会計	553,416円
簡易水道特別会計	129,556円
住宅資金特別会計	7,572円
公共下水道特別会計・集落排水特別会計	588,416円
その他(宅地造成、墓地、老人居室等)	7,142円
合計	1,286,102円

九月議会定例会を一日から二五日までの会期で開催した。一般会計を始め一三件の補正予算、平成一八年度の決算認定一五件、条例改正二件、議員発議四件、その他七件の議案を審議し、条例改正一件の修正可決を除きすべて原案どおり可決、認定した。

また、陳情八件を審議し採決した。

一般質問は一一名の議員が町政をたずねた。

一般会計

質問
① 監査委員の意見書について所見を聞く。

答弁 平木町長
① 滞納の問題での徴税努力、不納欠損について納税者の理解が得られるかということだと思いが一層頑張っていきたい。

質問
たばこの自販機による収入があるが、健康等に問題がある。役場庁舎に自販機を置くことはどうか。

答弁 平木町長
よく考えてみたい。

一般会計・特別会計の決算総額

一般会計		特別会計(14会計の合計)	
歳入	97億8,983万円	歳入	73億3,181万円
歳出	94億8,360万円	歳出	69億3,729万円
差額	3億623万円	差額	3億9,452万円

基金の現在高

内 訳	現在高
財政調整基金	8億145万円
減債基金	1億4,577万円
まちづくり基金	3億 円
国民健康保険財政調整基金	1億6,224万円
その他の基金	5,028万円
合計	14億5,974万円

(参考)平成17年度末 12億6,886万円

地方債現在高

内 訳	現在高
一般会計	110億9,709万円
簡易水道特別会計	25億9,786万円
公共下水道特別会計	41億9,430万円
農業集落排水特別会計	76億 463万円
その他の特別会計	2億9,507万円
合計	257億8,895万円

(参考)平成17年度末 263億9,457万円

未収金現在高

内 訳	現在高
町民税・固定資産税・軽自動車税	5,466万円
国民健康保険税・介護保険料	8,707万円
保育料・町営住宅使用料	1,456万円
公共下水道・集落排水の使用料等	2,652万円
水道使用料	1,586万円
住宅資金貸付金	1億5,868万円
合計	3億5,733万円

(参考)平成17年度末 3億5,516万円
(注)18年度については、上記表以外に3,437万円が不納欠損処理(債権放棄)された。

住宅資金特別会計

質問
収入不足で繰り上げ費用(充当)になっている。収入見込みより充用額が多い。こんな予算はあり得ない。

答弁 平木町長
添付の説明資料ではわからないということか。(別途、文書が出された。)

反対討論 下田議員
決算審議の方法が十分という理由で反対する。

質問
一般財源の投入見直しはどうか。

答弁 平木町長
書類の整理をしているが、一件ずつ議会に説明する時期がくると思っている。

反対討論 池本議員
合併してから二年半、

賛成討論 森山議員
繰り上げ充用は非常手段だ。分納誓約とか保証人への請求など努力されている。賛成する。

賛成討論 西尾議員
収納対策室もでき努力している。賛成としたい。

反対討論 西山教育長
給食センターの設計コンベというところは建設のゴーサインではなく、いくらぐらい費用がかかるか見極めるためのものだ。

賛成討論 川西議員
那家給食センターでは米飯ができないし、八東の施設は老朽化等問題がある。これから給食センターを造る上で必要であり、問題解決のため全力を尽くして取り組むことを願って賛成する。

反対討論 矢部議員
事の重大性を甘く見ていない。住民の不満は極めて高い。一定のけじめをつける必要からも反対する。

賛成討論 山本議員
コンベは給食センターづくりには必要。賛成する。

賛成討論 岡嶋議員
給食センターの設計コンベや報償金が含まれているので反対する。

反対討論 西尾議員
給食センターの件、プロセスができていない。納得できないので反対。

同和対策

現状と今後の方向性を問う

町長／差別解消の推進



池本 強 議員

質問 人権施策を含む同和対策の現状と取り組みの基本的見解、具体的施策と事業費は。

答弁 今後の同和対策の方向性と基本的見解、施策等について伺う。

金一、六四九万円を含む各種団体への補助金が一、七二二万円、隣保館関係が五、六八四万円など合計で八、六九〇万円。今後の方向性は、差別がある限り同和問題をはじめ人権問題に対して、差別解消に向けて推進していきたいと考えている。

部落学習会



質問 ハード的にはある程度住環境の整備はできたと考えている。

答弁 残念ながら部落差別は存在するといふことで、このようなことがないまちをつくるのが一番だろうと考えている。

一九年度予算は、解放同盟補助

西山教育長 あらゆる差別・人権問題の解決をめざして、人権意識の普及、高揚に向けた教育、啓発を積極的に推進したい。

事業費は、進学奨励、新入学用品等助成が一、七二八万円などで、教育委員会分は合わせて、三、五五〇万円余りである。

統廃合は町の独断先行では

教育長／早急に統合すべき相談はしている



西尾 節子 議員

質問 行政改革プランに「給食センターの統廃合を行う」とあるが、町民と協働による改革の推進ではなく、町の独断先行のように思われるが。

西山教育長 統合については合併協定書により「給食費の統一を図る」ということになっている。郡家地域の保護者から「なぜ郡家地域のみ弁当を持たせるのか」という意見があること、鳥取市で集団食中毒があったことなどから、教育委員会では早急に統合すべきだという結論に

答弁 平木町長 コンベの話はしたと思う。今後反省すべき点は反省し、改めて仕切り直しをし、議員の皆さんにも出発点から勉強して考えていただきたい。

西山教育長 その他の質問

- ・スポーツ振興計画は必要
- ・郡家駅前の整備は
- ・防災無線の点検を



質問 議会と討論していないのに、どんな話が進んでいるかと思っている。町長はどんなふうにお考えか。

西山教育長 達している。学校改革のめどがついたので、平成一九年度を検討・準備の年と考えている。議会全員協議会や常任委員会に相談しながら進めていると認識しており、町内一小・中学校のPTA会長を主体とする学校給食運営協議会や校長会でも相談している。

認知症

行方不明者対策は

町長／家族の理解が必要だ



山本 弘敏 議員

質問 高齢化が進む中、年々認知症による行方不明者が増えているのではないかと。不幸にして認知症による行方不明者が発生した場合、捜索に当たって多くの人手を要する。認知症の方が行方不明にならないような、また行方不明になっても居場所が直ぐに分かるような機器はないか、また機器があれば購入や使用料など行政の助成はどうか。

平木町長 保健事業で認知症関係の講座も開いている。認知症は恥ずかしい病気だと思いがちで、多くの家族の方が増えるのが、この考えを変えることが大切だ。機器としては家を出たら警報がなるものや、身に付ける発信機などがある。先般、町報にこの発信機を紹介したところ申し込みがあった。助成としては、現在補助規定もあり、初期に最高で七千円出している。今後は所得制限を設けることも必要だと思いが、維持管理費なども考えてはいる。

西山教育長 部落公民館の上下水道使用料金の無料化は



平木町長 上下水道運営審議会に回り検討したい。

西山教育長 上下水道運営審議会に回り検討したい。

平木町長 上下水道運営審議会に回り検討したい。

西山教育長 上下水道運営審議会に回り検討したい。

加工施設

フルーツセンター加工施設の改善策は町長／指定管理者と相談する



矢部 博祥 議員

質問 当町の基幹産業は、農業であり、フルーツ総合センターは、本町のフルーツの里づくりの情報発信拠点として設置されている。同所にある加工施設は、今や陳腐化し、衛生面での懸念も生じている。フルーツに加えて有機農産物を中心とする加工施設として設備の更改、または新規導入を行い、本町の活性化と同センターの販売促進に役立ててはどうか。

平木町長 同センターは、町の施設だが、運営は、指定管理者として八東地域振興株式会社である。設備の充実が必

西山教育長 要であるか相談したい。衛生面で保健所の指導等があれば、改善すべきと思う。

平木町長 やるといふ方向が出れば、運営協議会を作って、利用計画を立てていただくことが大切だ。

西山教育長 施設改善費用の二割を地元負担ということだが、どういうことか。

平木町長 条例では誰でも利用できることになっているのに、他の人を締め出すことにならないか。

西山教育長 施設改善費用の二割を地元負担ということだが、どういうことか。

平木町長 利用者には、限定されているので、応分の利用者負担がはかると考えている。

西山教育長 その他の質問

- ・やってきた災害、今こそ備えの点検を



平木町長 同センターは、町の施設だが、運営は、指定管理者として八東地域振興株式会社である。設備の充実が必

統合

給食センターの計画は

教育長／教育条件の平等が大切



岡嶋 正広 議員



▲まだまだ使用可能な設備（船岡給食センター）

質問

給食センター統廃合計画が具体的に進んでいるようである。町の示す計画では、「関係者の意見を踏まえ議会・住民と協議し、平成二十三年度目標」を掲げているが。

①関係者の意見をどのよう踏まえ、反映されているのか。関係者とは誰か。議会・住民とはどのようなに協議したのか。

②二三年度実施目標をなぜ前倒ししてまで進めるのか。もっと調査研究が必要ではないか。

③統廃合による財政効果を明確に示し、町民が納得する根拠を示すべきだ。

職員もそうである。

P T A会長を主体とする学校給食運営協議会や校長会で相談している。教育委員会でも二度三度協議し統合するという結論を得ている。

②郡家地域の子供たちは、米飯給食の日のご飯弁当持参であり、町内の子供たちの教育条件を平等にする事が大切と考える。

③財政効果はある程度見込めると思う。場所も未定であり現時点では示せない。

その他の質問
・身近な環境(地球温暖化)対策

答弁 西山教育長

①関係者とは保護者・議会・学校関係者、さらには行政内部、そこで働く

行財政改革を進めるうえで町の資産、財産、全ての事務事業の棚卸しをして町民の前に明確にすることが大切では。

質問

職員の町民に対する対応に、色々な意見があるが。

不親切、窓口での対応、挨拶もできない問題、色々聞いている。注意すべき点は注意していく。個人名を公表し通報していたきたい。

答弁 平木町長

これからそういう部分に着手する。まさに棚卸しだ。時代の流れ、町民の皆様に対する説明責任だ。

どう創る 21世紀の八頭町 (パート2)

町長／事務事業の棚卸をする

行財政改革



下田 敏夫 議員

平成一八年八月三十一日付け総務省次官通知に、地方公会計の改革が五年後までとあるが。

答弁 平木町長

平成二〇年度分の試作



▲窓口の風景

ができるよう、売却可能資産の洗い出し、評価を進め完成は平成二十一年度予定だ。

質問

町民にとって一番大切な予算である。編成段階での情報公開は。

答弁 平木町長

公開する部分がどこまでか。公開しても範囲を限定したり、内容的にも制限をかけるべき。今の予算要求の方法では難しい。



川西 聡 議員

質問

当町の選挙管理委員会は現在四三の投票所を一五にする再編案を検討している。

①投票率を下げない対策を考えているのか。

②利便性を考慮して現在の数は維持するべきではないのか。

答弁 藤田選挙管理委員長

①投票所の数と投票率の低下は必ずしも相関関係にはない。各地の選挙でも投票率は低下していない(智頭町・若桜町等)。

②今後、秋の区長会や新年の各集落の総会等で住民の意見を聞き、選挙管理委員会でも再度意見調整をしたい。

議員の意見は承っております。

臨時任用職員の通勤手当の見直し

質問

現在、臨時職員の通勤手当は一律となっているが、業務内容を考慮して距離により額を区別すべきではないか。

答弁 平木町長

一〇キロまでで打ち切りになるかもしれないが、一律支給は見直しをしたい。

なお、日額賃金・期末手当も各市町で異なっており、併せて見直したい。

その他の質問
・土星の再構築または撤去について

投票所

選挙投票所再編成案の撤回を

選挙管理委員長／再度意見調整をしたい



山ノ扇

登山口案内板の改善を

町長／県にお願いする



河村 久雄 議員

質問

登山者が多い扇ノ山は、登山口が四か所ある。

扇ノ山の案内板は、堀越と延命寺にあり、延命寺の標識は国府町方面へ案内されている。

本町に来ていただきながら鳥取市国府町の案内は八頭町民として残念ではない。

姫路登山口へ改め、公園での登山届、公園などのPRを行うようにならないのか。

答弁 平木町長

県にお願いする。登山届けも管理者とできるよう話を進めるとともに、看板を直して本町のPRをしたい。

質問

公園条例一四条は使用料を減額し、または、免除することができるとしているが、何を基準としているのか。

答弁 平木町長

今まで要綱がなかったので必要と思う。町が使用した場合も支払っていくべきだと思う。減免申請は、指定管理者に対して出さない方法にもっていきたい。それ以外の減免は管理者の責任で経営をしてほしい。



▲延命寺の案内板

住宅資金

滞納対策、どうするのか

町長／整理整頓をする

時間がほしい



前土居 一泰 議員

質問 住宅資金の滞納について町民は簡単に税金投入は許さないと。投入の前提は、やれることはすべて行い情報公開に耐えるだけの中身が必要だと考えるが。

質問 旧八東町で平成一〇年三月に税金で処理したものが、本町となつてからは今年の八月には税金による処理を申請しているが、この間に税金処理の事例はないか。

答弁 平木町長 過去には、どの町もしているのではないかと思っている。

質問 この会計の一八年度の県内の状況は。

答弁 平木町長 一般会計で処理は二町。一般会計から繰り入れが八市町。基金からの繰り入れが一町。黒字は倉吉市のみ。

質問 若桜線の存廃問題、路線バス南岸線の廃止など公共交通体系が変化しており早急に見直す時期がきている。

質問 特急が止まる駅、八頭町の表玄関として郡家駅周辺の将来を見すえて開発しなければならぬと思う。

質問 郡家駅周辺に対してどのような構想を持っているのか。JR、駅周辺地域、観光協会、商工会との連携はどのように図っているのか。経過、現在行っていることについて伺う。

答弁 平木町長 平成一八年三月を目指していたが執筆者の病気などにより遅れたのでお詫びをする。遅くとも年内には配布できる。

質問 郡家町誌の配布時期が大幅に遅れているがいつになるのか。

答弁 平木町長 平成一八年三月を目指していたが執筆者の病気などにより遅れたのでお詫びをする。遅くとも年内には配布できる。

郡家駅

周辺の構想は

町長／駅前活性化委員会で検討



桑村 和夫 議員

答弁 平木町長 駅前活性化委員会に予算をつけて、地元、JR郡家駅、商工会、JA、観光協会、金融機関に参加してもらい、駅前周辺の活性化について議論している。JRの方から郡家駅舎及び駅前広場について



▲町づくりの先進事例を聞く

質問 郡家町誌の配布時期が大幅に遅れているがいつになるのか。

答弁 平木町長 平成一八年三月を目指していたが執筆者の病気などにより遅れたのでお詫びをする。遅くとも年内には配布できる。

質問 郡家町誌の配布時期が大幅に遅れているがいつになるのか。

答弁 平木町長 平成一八年三月を目指していたが執筆者の病気などにより遅れたのでお詫びをする。遅くとも年内には配布できる。

行政施策の積極的公開を求める

町長／公開の方向だ



小倉 一博 議員

情報公開

質問 スリムな行政が求められている反面、社会の多様化から行政ニーズは拡大している。行政運営の実態を公開し、住民の意向を聞くべき時代だと考える。行政に対する町民の関心が薄いとされるのも情報が少ないからではないか。

① 主要施策の結果は財政も含め全体像を公開する。

② 町施設の設置は計画段階から情報公開をする。

③ 町民の関心事例の情報を積極的に公開する。



▲11月から学んでいる中央中学校の新校舎

答弁 平木町長 自治の主役は町民であり町民の方を向いた行政をやりたい。三点のポイントは的確な指摘だ。① 大型事業の全体像について、公開はできるがどの時点が良いのか検討が必要だ。② 合併協議会等の引継事項については大方でいい。

今後の事業は、自分たちで考えてやっていくことになる。審議会を作ったり、関係者の意見を聞いたり、公開の方向に間違いはない。パブリックコメントをどこまで求めるかは大きなポイント。③ 広報誌・ホームページ・行政懇談会などで情報を出している。広報誌の内容も含めた広報のありかたを考えていく。

質問 今後の事業は、自分たちで考えてやっていくことになる。審議会を作ったり、関係者の意見を聞いたり、公開の方向に間違いはない。パブリックコメントをどこまで求めるかは大きなポイント。③ 広報誌・ホームページ・行政懇談会などで情報を出している。広報誌の内容も含めた広報のありかたをを考えていく。

その他の質問 地域の安全・安心対策

第七回臨時会 八月二〇日

一般会計補正予算案一件を審議し原案どおり可決した。

○国際交流事業 八七万円
韓国韓牛祭に本町の紹介と出店するための旅費

○国際交流事業 五九万円
中国吉林省訪問団を迎えるための宿泊費等

陳情の審査

○陳情8件を審査し、採択4件、趣旨採択2件、継続審査2件とした。

○意見書を関係機関に送付したものは次のとおり。
・日豪FAT交渉・畜産酪農危機・地域農業の確立に関する意見書
・割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

なお、かほりグループ等からの八東フルーツ総合センター加工施設改善にかかる陳情は継続審査とした。

平成19年12月定例会

(*変更になる場合もあります。)

日	曜日	開議時刻	日程
11日	火	9:30	○本会議・開会 ・議案上程、説明
12日	水	9:30	○本会議・議案に対する質疑等 ・議案の審査 ○常任委員会
13日	木	9:30	○本会議・町政に対する一般質問
14日	金	9:30	○本会議・町政に対する一般質問
17日	月	9:00	○常任委員会・議案の審査
18日	火	-	連合審査会
19日	水	-	全員協議会
21日	金	9:30	○本会議・議案の可否決定 ・請願陳情の採否決定 ・閉会

※○印は原則傍聴できます。

動く議会を目指して 議会懇談会を開催

中学校の在り方等を調査研究中の中学校校舎改築等調査特別委員会では九月三日、五日、六日の三日間、町内一四会場において八頭町議会懇談会を開催した。

各会場に議員四、五名ずつ出向き、これまで調査研究した財政面、中学校の望ましい規模配置、通学方法と

通学経費等の課題について報告をした。

また、町政全般にわたりご意見を聞いた。参加していただいた住民の延べ人数は一五八人であった。

初めての議会懇談会だったが、それぞれの会場から多くのご意見や質問をいただいた。特別委員会では、早急に集約をして今後の調査研究に反映していきたいと考えている。



▲懇談会の様子



平成二〇年三月までには特別委員会として今までの研究調査を踏まえ「まとめ」を行なう予定である。

委員会活動報告

総務常任委員会行政調査

○期日

一〇月一日～二日

○場所

広島県・福山市

○目的

三原市は、いち早く「地域情報化基本計画」を設置しインターネット基盤整備事業に着手したため、先進事例としての取り組みを調査した。

福山市では、人権平和資料館を訪れ人権と平和の大切さについて調査を行った。

○調査内容

〔三原市〕
三原市は、平成一七年三月二二日に四市町が合併し、人口は一〇万四、一九七人。

新市建設計画では「一人一人が輝くまち」幸せを実感できるまち

「活性を生み出すまち」の三要素から構成されている。

☆三原市地域情報化計画に基づき、地域情報化と行政情報化を一体的に推進する。

☆地域間における情報利用計画の格差の是

正、質の高い行政サービスの提供、難視聴地域の解消のための情報基盤整備を行なう。

☆インターネットによる高速通信サービスの提供、ケーブルテレビによる難視聴対策と自主放送の提供をするために光ケーブル網を整備すること。

☆平成一九年からは、三原放送の自主チャンネルの中に行政チャンネルの枠を一日三回設定し議会中継も放送する。

☆その他、告知放送による災害、火災、交通情報、安否確認を行なっている。

〔福山市〕

当市は、「人間環境都市」を掲げ、「福山空襲」の資料展示を通じて同問題解決を始めたとする人権の確立と恒久平和の実現を目指し、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めている。

福山空襲は、八月六日広島原爆投下の二日

後、敗戦の一週間前だった。

一九七九年から町内会などを単位とした同問題学習会が始まり、地域課題や私たちの課題として受けとめる学習が始まった。

一九八六年には、「恒久平和の維持と基本的人権の尊重」を都市づくりの基本理念に位置づけ、現在の福山人権平和資料館が完成した。

まとめ

三原市の情報化計画の説明を受け、どの事業をどう取り入れたらよいか今後の課題となり、その選択が重要なかぎとなる。

福山市では、この資料館を訪問したことで、議員一人ひとりが人権と平和問題について自らの課題とし、まわりの人々に理解の輪を広げていくことの大切さを学んだと思う。

編集後記

本町議会では、議会の活性化について特別委員会等で検討しています。

その一環として中学校問題について地域の皆様の所へ出かけて意見をお聞きしました。初めての試みであり、行き届かないところもあったと思いますが、これからもこのような機会を作っていかなければならないと思っています。皆様のご意見を参考に議会に活かして行きたいと思っています。

議会だよりでは、先回から定例会の案内をしております。参考にし、傍聴にも来ていただきたいと思います。

また、紙面に対して皆様のご意見を伺うアンケートを計画しています。依頼がありましたらご協力をお願いします。

議会広報常任委員会
副委員長 桑村和夫

